

# 堆積式堆肥化施設での家畜排せつ物とユズ搾りカスの堆肥化

畜産試験場

## 研究のねらい

低コストで環境負荷の少ない家畜排せつ物堆肥化技術により、堆肥化時のアンモニアガス揮発を低減させるとともに、農業残渣のリサイクル技術確立し、良質な堆肥を生産します。

## 研究の成果

- ①堆積する場合、水分含量を60%~70%程度に調整する必要があります。家畜排せつ物の水分含量にもよりますが、重量比で家畜排せつ物：ユズ搾りカス=3：2程度で望ましいと考えられました（図1）。
- ②切り返しにはショベルローダーを用いました（図2）。切り返しは、堆積の初期で2週間に1回程度が望ましいと考えられました。
- ③ユズ搾りカス混合により、堆肥化時のアンモニア揮発を抑制できました（図3）。



図1 ユズ搾りかす



図2 ユズ搾りかすと家畜排せつ物の混合

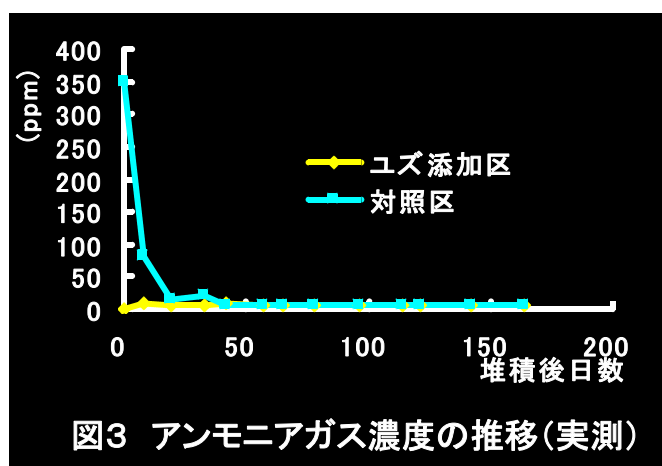


図3 アンモニアガス濃度の推移(実測)

(問合せ先：0739-55-2430)